

産業建設 常任委員会

9月2日に招集された同委員会の概要についてお知らせします。

【奥尻港湾視察】



港湾内の灯油備蓄施設設置箇所を視察し、新港湾用地H23、24年計画などにつ

いて担当課から説明がありました。

【あわび種苗育成センター視察】



あわび種苗育成センター施設を視察し、今後の施設の利用方法として、ナマコ種苗生産も含む施設活用の検討について、奥尻町離島漁業集落活動促進計画の策定についてなどの説明が担当課よりありました。

総務文教 常任委員会

9月7日に招集された同委員会の概要についてお知らせします。

【特別養護老人ホームおくしり荘視察】



総務文教常任委員会は、

開催に先立ち、青苗にある特別養護老人ホームを訪問し、辻理事長、麓施設長の案内で奥尻荘の現況と入居者の食事状況などを視察しました。同時に、施設の整備と老朽化の実態などについての説明を受けました。



その後、議会会議室で当委員会の調査事項について、担当課より説明がありました。

【住民課関係】

①平成21年度の町税の収納状況は、92.71%となっており、前年度の92.1%より、収納率がアップしているとの報告がありました。

②国税の電子化に係わるシステムのために、改修委託業務と国税の連携サービスの機会を導入するために9月議会に3百3万円の予算案を提案するとの説明がされました。

③平成22年度の国保税の当初における賦課状況について説明があり、応能、応益の割合の変更があることから、今後の検討課題との報告がされました。委員から応益、応能の賦課割合が50対50としなくともよいとの改正があり、能力に応じた負担割合とすべきではないかとの意見が出されました。
④平成23年度における国保税の見直しについて、医療費の動向と3年後に改正される後期高齢者医療制度の

見直しを見据えて税率の引き上げの検討をしなければならぬとの説明がされました。

委員から「この景気の低迷の中で税率の引き上げは問題がある」「3年後の後期高齢者制度の見直しは先のことであり、来年度に税率の引き上げをするのは好ましくない」との意見が出されました。

⑤奥尻町の地域包括ケア推進事業について、老人の独居世帯、認知症、介護世帯などの環境を調査し、警察、消防署、民生委員などで情報を共有することを検討しているとの説明がありました。

【教育委員会関係】

①奥尻島津波館について漏水箇所、排煙設備、地下扉ドアノブ鍵の改修について説明があり、専決処分と9月議会に補正予算を提案するとの説明がありました。

②国土交通大臣杯の第3回離島甲子園の結果報告があり、本大会では1回戦で敗退したが交流試合では準優勝であった。今回は愛媛県の上島町で開催されることになっている、との報告がされました。

委員会ではさらに、議会で議決した閉会中の事務調査を行うために、毎月、委員会を開催すべきではないかとの意見がだされ、次回に協議することになりました。

視察来町者
状況

「防災対策への取り組み」等の視察に各方面から今年に入って9団体65人の来町がありました。

6月

熊本県宇土市議会 5人

7月

岩手県岩手町議会 14人



岩手県岩手町議会 (7月9日 役場2階会議室にて)

8月

鳥取県鳥取市議会 4人
宮城県南三陸町議会 6人

神奈川県茅ヶ崎市議会 5人

宮城県石巻市議会 3人

10月

長崎県議会 15人

7月



長崎県議会 (10月13日 役場2階会議室にて)

議会広報研修会

○8月20日、北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会が、札幌市で開催され、全道から89町村373人の委員と関係者が参集しました。奥尻町からは、広報編集委員3名と事務局1名が出席しました。

福島県浪江町議会 8人
宮城県議会 4人



○広報コンサルタント深沢徹氏が講師となり、『議会広報・改革への提言』と題し、ありのままにわかりやすい紙面の作成にはどうすべきかなど、読み手である町民の視点に立った研修でした。